令和８年度

秋の全国火災予防運動

11/9（月）～15（日）



11月9日（月）から15日（日）までの一週間は「秋の全国火災予防運動」です。これからの季節は、空気が乾燥し火災の発生しやすい時期となります。火の取り扱いには十分注意し火災を防ぎましょう。

◆令和８年度全国統一防火標語◆　**「火の確認　いい日を支える いい習慣」**

昨年の火災

令和7年の郡上市における火災件数は9件でした。今年は9月末現在ですでに13件発生しており、昨年に比べてペースが早まっています。大切な命を守るため、日頃からの火災予防にしっかりと取り組みましょう。

令和7年の全国での火災件数は4万783件であり、そのうち住宅火災は、1万1,929件でした。

出火原因は「たばこ」が最も多く、続いて「たき火」「電気機器」となります。死者については、「逃げ遅れ」によるものが一番多くなっています。

火災予防ポスター・図画の最優秀作品

市内の小中学校、幼稚園、保育園から応募いただいた作品の最優秀賞を選定しました。

また、岐阜県作品展のポスターの部へ最優秀作品を出展し、『岐阜県消防設備協会長賞』を受賞しました。





ポスターの部　最優秀賞
黄倉（きいくら）　育（はぐむ）さん（八幡中学校3年生）



図画の部　最優秀賞
鈴木（すずき）　みひろさん
（明宝小学校３年生）

入賞作品の展示会を開催します

入賞されたポスターの部15点、図画の部15点を展示しますので、ご覧ください。

日　10月27日（火）～11月3日（火）
場　郡上市総合文化センター
日　11月10日（火）～11月16日（月）
場　白鳥ふれあい創造館

ご存じですか？地震火災の過半数は電気が原因！

阪神淡路大震災や東日本大震災などの巨大地震では、地震による火災原因の過半数が電気関係の出火でした。

巨大地震では、揺れに伴う電気機器の出火や、建物倒壊による電気配線からの出火、停電復旧後に電化製品と可燃物（燃えるもの）の接触による出火などがありました。

これらの出火防止には、感震ブレーカーが効果的です。大きな揺れを感知すると、自動で電気を止めます。不在のときや、ブレーカーを切って避難する余裕がない場合には、特に有効です。

巨大地震が発生する前に、感震ブレーカーを設置して電気火災から自宅を守りましょう！

感震ブレーカーを設置しましょう!!



設置してますか？住宅用火災警報器

住宅用火災警報器の設置義務化から15年が経過しています。

住宅火災による死者の多くは、就寝中など、火災に気づくのが遅れてしまう『逃げ遅れ』が原因となっています。また、65歳以上の高齢者が、住宅火災による死者の7割以上を占めているというデータもあります。

住宅用火災警報器は、火災を感知して、音声や音で火災の発生をいち早く知らせます。そのため、寝室や階段の天井など、設置が必要な場所が決められています。また、いざというときに作動しないことがないように、定期的に点検しましょう。

※住宅用火災警報器設置アンケートを実施しています。所要時間は3分程度ですので、ご協力をお願いします。

アンケート

問　消防本部予防課　67・1219